

イラスト／安彦麻理絵



これって どうなの??

大人編

あ

る朝のこと。黄色い帽子をかぶった一年生が、大きな声で「ありがとうございます」とお礼を言いつてバスを降りた。大抵の運転手さんは無言だが、その日は違っていた。「ありがとう。いつてらっしゃい」と返答したのだ。その瞬間、私はさすがにささおぼえた。

料金は払っていても、安全に運転してくれてありがとう。お世話にな

りました。という気持ちで、保護者や先生に教えてもらったのあいさつだと思ふ。

大人の役割を考えると、思い出すことがある。冬とは思えぬ小春日和のあたたかな日曜日、子ども連れの一家がバスに乗り込んだ。バス停前のマンションには、ベランダにたくさん

の女の子は、窓を見上げ「ママ、おひさまの匂いにするよ。お布団が喜んでるね」と母親に言った。すると母親は、「お布団にはダニがいっぱいで、汚いのよ。おひさまには匂いなんかないよ」と答えたのだ。それから女の子は、無言で窓を見ていた。女の子が感じた太陽のあたたかさ、日に照らされたお布団の白さを、なぜ認め、共感してあげられないのか。

また一人、子どもの心の芽を摘み取ったと感じた瞬間だった。豊かな心は一朝一夕には育てられない。日常生活の一つひとつの体験が、血となり肉となる。親が悪い、学校が悪い、と人のせいにする前に、まず自分の襟をただそう。

子どもの心を豊かに育てるお手伝いを、私たち大人はしたいものだ。

（事務局長 山橋由貴子）



のんちゃんのおすすめ紹介

はとバス編



お台場のレインボーブリッジ

東京観光の定番「はとバス」に、先日初めて乗りました！築地場外市場～八芳園～六本木ヒルズ展望台～お台場と人気スポットを巡るコース（コース名は「八芳園と東京ベイエリア」）です。

築地場内市場は昨年、豊洲に移りましたが、場外市場のある築地は、各国の旅行者でまだまだ大賑わい。はとバスの乗客は、様々な特典付きのクーポンがもらえ、有名店の玉子焼きを試食したり、コーヒーをもらったりとお得感いっぱいでした。

続いて、白金台にある八芳園へ。もともとは江戸幕府旗本の久保忠教（彦左衛門）のお屋敷で、「四方八方どこを見ても美しい」ことからこの名がついたそうです。ここで昼食をいただいた後、庭園散策。現在は結婚式場ですので、きれいな花嫁さんを見ることもできます。

六本木ヒルズ展望台には初めて登りましたが、東京タワーやスカイツリーに比べると人が少なく、ゆっくり景色を楽しみました。最後の目的地、お台場では、日没の時間と重なりサンセットクルーズに。はとバスのコースは、1時間から、半日、終日と選べるので、効率的。意外と自由時間も多く、あくせくすることなく観光できました。

ところで、「地域限定コスチュームキューピー」コレクターであるのんちゃんは、はとバス車内でしか買えないキューピーを、もちろんゲット。キューピーのコスチュームは、定期的に変わるのだとか。暖かくなったら、どなたか一緒にしませんか？



※はとバス限定コスチュームキューピーを2名様にプレゼントします。詳細はカラーページ(P.17)をご覧ください。

はとバス予約センター TEL: 03-3761-1100(8:00～20:00／年中無休)